

令和8年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：073.共生社会論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

以下のⅠ、Ⅱに日本語で答えなさい。

Ⅰ. 次の項目から3つを選び、項目ごとに一枚の解答用紙の表裏を使って詳しく解説しなさい。なお、解答の前に、選んだ項目を示すこと。(配点 150点)

クライエントリズム 認識的民主主義 言説的制度論 小選挙区比例代表並立制
承認の政治 機会費用 シェファードの補題 補償変分 ギッフェン財
操業停止価格 整理解雇の4要素 雇用調整助成金 免罰的効力 割増賃金
健康管理時間

Ⅱ. 以下のA～Cのうちから1つを選び、解答しなさい。(配点 150点)

- A. 「公共政策はやっかいな問題 (wicked problem) を対象とする」と言われることがあるが、それはなぜか、具体例をあげて説明しなさい。そのうえで、そのようなやっかいな問題に対して、どのような対応策が考えられるか説明しなさい。
- B. 以下の1、2にすべて解答しなさい。
1. 「生物多様性保全を推進することは、社会に費用負担のみを強いるものではなく、便益をもたらすことにつながる」との意見について、いくつかの論点を示したうえであなたの考えを述べなさい。
 2. 1. で示されたあなたの考えの妥当性を実証的に明らかにする研究計画を立て、その詳細を説明しなさい。
- C. 以下の1、2にすべて解答しなさい。
1. わが国の労働法の中で、非正規雇用労働者と正規雇用労働者の労働条件の不合理な差を解消するために設けられた複数の法律の条文をすべて挙げ、その内容を詳細に説明しなさい。
 2. 1. で説明した、わが国の労働法による非正規雇用労働者の保護の全容につき、不十分な点はあるか否かを論じなさい。